

事業	ものづくり基本計画	方針（３）新製品・技術開発等に対する支援		令和元年度				
	事業名	事業 8 新商品開発等に対する支援 (1)新商品開発に対する助成		予算額	3,000 千円			
				決算額	3,000 千円			
	事業概要	<p>新商品開発等に対して多角的な支援を実施することで、中小企業等の新商品開発意欲の向上に寄与し、地域経済の活性化を図ります。</p> <p>(1)新商品開発に対する助成 中小製造事業者を対象に、新商品等の開発に要する経費等に対して助成することにより、中小製造事業者の開発意欲の向上や製造業の振興・発展を図ります。</p>		取組状況	事業結果	<p>■申請件数：4件 ■採択件数：3件</p> <p>採択企業に対しては、試作品の完成に向け随時フォローアップを行い、全ての事業を年度内に完了することができた。併せて産業財産権出願事業補助金の活用も推進し、企業競争力の強化につなげた。</p>		
	成果目標	新商品等開発支援件数 3件						
	8	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R2.3.31 現在	新商品等開発支援件数 3件	3件
		産業振興プラン位置付け	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	事業の完了後も動向を対象企業にヒアリングし、他の支援制度の利用促進等を通じて出口（販路開拓）支援を行っていく。また、令和2年度は、販路拡大を見据えた商品ラインナップの拡充を支援するため、補助金の取り扱いを拡充する。	
			施策	新製品・技術開発等に対する支援				
分野	商工・物流							
政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります							
施策	新製品・技術開発等に対する支援							
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)					

事業	ものづくり基本計画	方針（３）新製品・技術開発等に対する支援		令和元年度	
	事業名	事業 8 新商品開発等に対する支援 (2)デザイナー等とのコラボレーションに対する支援		予算額	6,437 千円
				決算額	6,135 千円
	事業概要	<p>新商品開発等に対して多角的な支援を実施することで、中小企業等の新商品開発意欲の向上に寄与し、地域経済の活性化を図ります。</p> <p>(2)デザイナー等とのコラボレーションに対する支援 デザイナー等とのづくり産業の事業所等をマッチングさせ、両者の協働によって新商品等を開発する「ニューウェーブしずおか開発事業」や「しずおかMIRAI designプロジェクト」を実施し、新商品開発の促進を図ります。</p>		取組状況	<p>事業結果</p> <p>■（ニューウェーブしずおか創造事業） 地元の意欲的地場産業者が参加し、プロデューサー指導のもと公募デザイナーとの協働により、デザイン開発を実施。試作を行い、P R ツール等を作成しつつ H P 等で告知し、「ギフトショー」に出展。販路開拓を実施した。</p> <p>参加事業者：7者 公募デザイナー：7者 開発点数：22点 展示会出展：1回(東京インタナショナルギフトショー)</p>
	成果目標	(ニューウェーブしずおか創造事業) 開発点数30点			
8	総合計画の位置付け(分野別)	分野 商工・物流	進捗率等 R2.3.31 現在	(ニューウェーブしずおか創造事業) 開発点数30点	22 点
産業振興プラン位置付け	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>■（ニューウェーブ） 開発点数は開発内容により大きく左右されるため必ずしも少ない結果とはいえない。今後は開発品の一層の商品化を図っていく必要がある。</p>
	施策	新製品・技術開発等に対する支援			
	分野	商工・物流			
産業振興プラン位置付け	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>■（ニューウェーブ） 開発点数は開発内容により大きく左右されるため必ずしも少ない結果とはいえない。今後は開発品の一層の商品化を図っていく必要がある。</p>
	施策	新製品・技術開発等に対する支援			
	分野	商工・物流			
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係 産業政策課 新産業係		その他 (特記事項)		

事業	ものづくり基本計画	方針（３）新製品・技術開発等に対する支援		令和元年度				
	事業名	事業 8 新商品開発等に対する支援 (2)デザイナー等とのコラボレーションに対する支援		予算額	2,000 千円			
				決算額	1,543 千円			
	事業概要	<p>新商品開発等に対して多角的な支援を実施することで、中小企業等の新商品開発意欲の向上に寄与し、地域経済の活性化を図ります。</p> <p>(2)デザイナー等とのコラボレーションに対する支援 デザイナー等とのづくり産業の事業所等をマッチングさせ、両者の協働によって新商品等を開発する「ニューウェーブしずおか開発事業」や「しずおかMIRAI designプロジェクト」を実施し、新商品開発の促進を図ります。</p>		取組状況	事業結果			
	成果目標	クリエイターと企業のマッチング件数 5件						
	8	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R1.3.31 現在	クリエイターと企業のマッチング件数 5件	6 件
			政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>■商品開発にとどまらず、事業展開や経営戦略にもデザインの要素を取り入れた提案を行っていく。特に新型コロナウイルス感染症の影響により新しいビジネスモデルの構築が求められており、ECの活用など新たな販路展開を意識した商品開発を行っていく。</p>	
		施策	新製品・技術開発等に対する支援					
産業振興プラン位置付け		分野	商工・物流					
	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります						
	施策	新製品・技術開発等に対する支援						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係 産業政策課 新産業係		その他 (特記事項)					

事業	ものづくり基本計画	方針（３）新製品・技術開発等に対する支援		令和元年度		
	事業名	事業８ 新商品開発等に対する支援 (3)専門家の指導による新商品開発支援プロジェクトの実施		予算額	70,638千円のうちの一部 千円	
				決算額	70,638千円のうちの一部 千円	
	事業概要	<p>新商品開発等に対して多角的な支援を実施することで、中小企業等の新商品開発意欲の向上に寄与し、地域経済の活性化を図ります。</p> <p>(3)専門家の指導による新商品開発支援プロジェクトの実施 専門家による指導のもと、中小企業が新商品開発から販売まで一貫したマーケティング手法を学ぶ「静岡おみやプロジェクト」により、新商品開発のノウハウ習得等を支援します。</p>		取組状況	事業結果	
	成果目標	6件				
	8	総合計画の位置付け(分野別)	分野 商工・物流	進捗率等 R2.3.31 現在	6件	6件
		産業振興プラン位置付け	政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	【静岡おみやプロジェクト】 ・3月以降新型コロナウイルスの影響により成果発表会、販売会が軒並み中止となっている。令和2年度の商品と併せて、販路促進に努めていく。
			施策 新製品・技術開発等に対する支援			
分野 商工・物流	政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	施策 新製品・技術開発等に対する支援				
担当課等	経済局商工部 産業政策課 企画係		その他(特記事項)			

事業	ものづくり基本計画	方針（３）新製品・技術開発等に対する支援		令和元年度				
	事業名	事業９ 産業財産権出願に対する助成		予算額	1,800 千円			
				決算額	1,800 千円			
	事業概要	<p>産業財産権の出願に要する経費等に対して助成することにより、中小製造事業者の技術開発等の意欲向上や産業財産権保護の必要性に対する意識啓発を図ります。</p> <p>また、日本貿易振興機構（JETRO）では海外における知的財産権の保護に関する相談を受け付けているため、市内企業等から相談があった場合には窓口を案内するなど、連携した支援を実施していきます。</p>		取組状況	事業結果	<p>静岡県発明協会や市内の弁理士と連携し、市内中小製造事業者の技術保護に対するニーズに応えることができた。</p> <p>また、外国出願に対する問い合わせに対しては、日本貿易振興機構（JETRO）静岡情報センターと連携を図り、支援につなげた。</p> <p>■特許出願 : 15件 ■実用新案登録出願 : 3件</p>		
	成果目標	産業財産権出願支援件数 18件						
	9	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R2.3.31 現在	産業財産権出願支援件数 18件	18 件
			政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	産業財産権出願に対する需要は底堅く、引き続き静岡県発明協会と連携を図り、補助制度を活用しながら企業の積極的な産業財産権出願を促進することで、市内製造業の技術保護につなげたい。	
		施策	新商品・技術開発等に対する支援					
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流					
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係	その他 (特記事項)						

事業	ものづくり 基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和元年度		
	事業名	事業10 生産性向上に取り組む中小企業への支援 (1)事業高度化機械設備設置事業補助金		予算額	40,000 千円	
				決算額	31,615 千円	
	事業概要	<p>生産性向上に取り組む中小企業等に対して多角的な支援を実施します。</p> <p>(1)事業高度化機械設備設置事業補助金 中小製造事業所に対し、生産性の向上に資すると認められる機械設備設置経費に対する助成を行うことにより、地域の産業の活性化及び高度化を図ります。</p>		取組状況	<p>事業結果</p> <p>企業や金融機関からの問い合わせに対しては、早期に対応し、積極的に訪問活動を実施。申請の支援を行うとともに事業課題のヒアリング等も実施、本補助金以外の支援にもつなげられるよう活動を行った。</p> <p>■補助金交付件数：21件 ■補助金交付金額：31,615千円</p>	
	成果目標	機械設備設置件数 30件				
	10	総合計画の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流	進捗率等 R2.3.31 現在	機械設備設置件数 30件 21 件 70 (%)
			政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化	事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>消費税増税前は企業の設備投資意欲が高かったものの、増税後は設備投資意欲が抑えられ、申請が低調に推移し、目標を下回ったため、目標を達成できなかった。 令和2年度は補助率を拡充し、経済の回復期を見据えた機械設備の導入を支援していく。 また、先端設備導入計画や地域経済牽引事業計画の承認企業及び候補企業に制度の周知を進めることで、他制度と連携をした企業支援を図っていきたい。</p>	
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流			
	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化			
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)			

事業	ものづくり基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和元年度		
	事業名	事業10 生産性向上に取り組む中小企業への支援 (2)現場改善支援事業		予算額	63,606千円のうちの一部 千円	
				決算額	63,606千円のうちの一部 千円	
	事業概要	<p>生産性向上に取り組む中小企業等に対して多角的な支援を実施します。</p> <p>(2)現場改善支援事業 市内中小企業が抱える経営課題の解決に向け、企業OBを中心とした経験豊かな専門アドバイザーを派遣し、現場作業改善（5S）や技術力向上、製品の高付加価値化を支援するほか、AIやIoTに関する相談等についても支援します。</p>		取組状況	事業結果	<p>■現場改善支援事業所数：16事業所</p> <p>■成果発表会：3講座（現場改善関連2講座、IT関連1講座） 71名参加</p>
	成果目標	現場改善支援事業所数				
10	総合計画の位置付け(分野別)	分野 商工・物流	進捗率等 R2.3.31 現在	現場改善支援事業所数： 16 者		
産業振興プラン位置付け	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>・前年度の参加事業者が別の内容の業務改善に取り組んでいる実績が含まれており、新規事業者の呼び込みを図る必要がある。</p>		
	施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化				
	分野 商工・物流	政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
担当課等	経済局商工部 産業政策課 中小企業支援係		その他(特記事項)			

事業	ものづくり基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和元年度	
	事業名	事業10 生産性向上に取り組む中小企業への支援 (3)生産性向上特別措置法に係る先端設備等導入計画の認定		予算額	- 千円
				決算額	- 千円
	事業概要	<p>生産性向上に取り組む中小企業等に対して多角的な支援を実施します。</p> <p>(3)生産性向上特別措置法に係る先端設備等導入計画の認定 先端設備等導入計画について市が認定を行い、取得した先端設備について、初年度から3年分の固定資産税軽減措置を受けることができるほか、認定を受けた企業が中小企業融資制度を利用するときは、信用保証料の一部を補助します。</p>		取組状況	事業結果 <ul style="list-style-type: none"> <li>■新規認定件数：141件</li> <li>■変更認定件数：49件</li> </ul>
	成果目標	新規認定件数：150			
10	総合計画の位置付け(分野別)	分野 商工・物流	進捗率等 R1.3.31 現在	新規認定件数：150件 141件	
	産業振興プラン位置付け	<p>政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります</p> <p>施策 中小企業の経営基盤・競争力の強化</p>	事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	今後も適切に認定事務の執行をする。	
	担当課等	<p>政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります</p> <p>施策 中小企業の経営基盤・競争力の強化</p>			

事業	ものづくり 基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和元年度	
	事業名	事業10 生産性向上に取り組む中小企業への支援 (4) I T 技術の活用・促進に関する検討		予算額	3,600 千円
				決算額	3,575 千円
	事業概要	<p>生産性向上に取り組む中小企業等に対して多角的な支援を実施します。</p> <p>(4) I T 技術の活用・促進に関する検討 I T 技術導入に対する状況や姿勢は企業によって差があるため、静岡県 I O T 活用研究会や静岡商工会議所の I T 支援プロジェクトチーム等と連携しながら、きめ細かな支援策について検討を進めます。</p>		取組 状況 事業結果	<p>■静岡商工会議所と連携してITなんでも相談窓口を設置。</p> <p>■窓口相談、巡回指導、セミナーを実施し、IT導入の促進並びに支援に努めた。</p>
	成果目標	IT導入に関する支援件数 100件			
10	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野 商工・物流	進捗 率等 R 2 . 3 . 31 現在	IT導入に関する支援件数 100件	104 (件)
産業振興 プラン 位置付け	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業 評価 次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	今後、新型コロナウイルス感染症による「新たな生活様式」に伴い、更なる I T の導入及び活用に向けた相談ニーズが多く見込まれる。このことから、さらに支援の裾野を広げていくため、支援体制の強化を図っていく。
	施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化			
	分野	商工・物流			
産業振興 プラン 位置付け	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業 評価 次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	今後、新型コロナウイルス感染症による「新たな生活様式」に伴い、更なる I T の導入及び活用に向けた相談ニーズが多く見込まれる。このことから、さらに支援の裾野を広げていくため、支援体制の強化を図っていく。
	施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化			
	分野	商工・物流			
担当課等	経済局商工部 産業政策課 中小企業支援係		その他 (特記事項)		

事業	ものづくり基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和元年度		
	事業名	事業11 事業承継に対する支援		予算額	6,800 千円	
				決算額	6,765 千円	
	事業概要	<p>市内中小企業が円滑な事業承継を行うことは、次世代に技術やノウハウを引き継ぐとともに、雇用を確保し、市内経済活動への貢献を続けることにつながるため、国の動きに連動するとともに、関係機関と連携のもと、事業承継の支援体制を強化します。</p> <p>(1)相談及び相談者の課題等に応じた専門家の選定等 (2)専門家の派遣 (3)啓発セミナーの開催及びチラシ等による周知</p>		取組状況	事業結果	<p>■静岡商工会議所との連携により、事業承継に係る支援体制を構築。 ■経営者等への啓発をはじめ、事業承継に関する相談及び専門家派遣の支援を行った。</p>
	成果目標	専門家派遣を通じた支援件数 80件				
11	総合計画の位置付け(分野別)	分野 商工・物流	進捗率等 R2.3.31 現在	専門家派遣を通じた支援件数 80件	80 (件)	
	産業振興プラン位置付け	<p>政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります</p> <p>施策 中小企業の経営基盤・競争力の強化</p>	事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>事業承継の必要性を感じていない潜在的に課題を抱えている市内事業者に対しても支援を行っていく。</p>		
	担当課等	経済局商工部 産業政策課 中小企業支援係			その他 (特記事項)	

事業	ものづくり基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和元年度			
	事業名	事業12 中小企業融資制度による支援		予算額	273,385 千円		
				決算額	121,478 千円		
	事業概要	<p>市内中小企業が経営上必要な資金を金融機関からの融資を受ける際、利子及び保証料の一部を助成します。</p> <p>(1)各貸付金に対する利子補給 (市内16取扱金融機関に対し、上期・下期に利子補給)</p> <p>(2)小規模事業者経営改善（マル経）資金に対する利子補給 (借入者の委任を受けた商工会等に対し、年1回利子補給)</p> <p>(3)信用保証料に対する保証料補給 (静岡県信用保証協会の信用保証料の一部を補給)</p>		取組状況	事業結果	■桜えび不漁により経営に苦しみ関連商工事業者を支援する融資制度を新設し、社会情勢に応じた支援に努めた。	
	成果目標	融資制度申込件数 1,110件					
12	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R2.3.31 現在	融資制度申込件数 1,110件	1,129 件
	産業振興プラン位置付け	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>・融資制度申込件数が年々減少している。金融機関による金利競争など外的要因もあるものの、利用いただく事業者や金融機関の声を逐次聴取し、時勢や状況に応じた使いやすい制度へ向け見直しを図っていく。</p> <p>・各融資制度・保証料補給事業については制度説明会などを利用し引き続き周知していく。</p>	
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化				
		分野	商工・物流				
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化				
	担当課等	経済局商工部 産業政策課 中小企業支援係		その他 (特記事項)			

事業	ものづくり基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和元年度		
	事業名	事業13 企業OB人材等の活用		予算額	1,790 千円	
				決算額	1,297 千円	
	事業概要	<p>企業と企業OB人材等とのマッチングの機会を提供することで、企業OB人材等が持つ知識・経験・ノウハウ等を活用し、企業が持つ様々な経営課題の解決を図る取り組みを推し進めます。</p>		取組状況	事業結果	<p>■新現役交流会の開催 経営課題を抱える中小企業と、専門的な経験・知識を有する企業OB等（＝新現役）とのマッチングを目的とした交流会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業名：第2回 静岡市新現役交流会</li> <li>・日時：令和元年9月9日（月）13:00～17:30</li> <li>・場所：グランシップ 6階 交流ホール</li> <li>・参加企業数：21社</li> <li>・参加新現役数：47名</li> <li>・延べ面談数：90回</li> <li>・マッチング率：12社/21社≒57.1%</li> </ul>
	成果目標	マッチング率 60%（参加企業のうち、人材の支援を受け入れた企業の割合）				
13	総合計画の位置付け（分野別）	分野 商工・物流	進捗率等 R2.3.31 現在	マッチング率 60%（参加企業のうち、人材の支援を受け入れた企業の割合）	57.1 %	
産業	産業振興プラン位置付け	<p>政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります</p> <p>施策 中小企業の経営基盤・競争力の強化</p>	事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>事前の申し込みでは66名の新現役が参加予定であったが、交流会前日から当日にかけて大型の台風が首都圏を直撃し、交通網が麻痺したことにより、当日の欠席が多数発生し、結果的にマッチング率の低下に繋がったと考えられる。</p> <p>より多くの新現役が交流会に参加することがマッチング率や満足度の増加に繋がることから、交流会当日に起こり得るトラブルへの対策と新現役参加に繋がる周知活動に注力し、次年度の交流会に備えていきたい。</p>		
担当課等	<p>経済局商工部 産業振興課 工業振興係</p>				その他（特記事項）	

事業	ものづくり基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和元年度			
	事業名	事業14 中小企業等の表彰事業 (1)CSR活動表彰事業		予算額	1,749 千円		
				決算額	1,506 千円		
	事業概要	<p>本市の誇る、魅力ある中小企業等を様々な観点から表彰し、企業価値の向上につなげます。表彰企業に対しては、リーフレットやパネル等を作成し、様々な機会にて企業情報を発信するとともに、中小企業融資制度にかかる信用保証協会保証料の補助率を通常25%から75%に上乗せします。</p> <p>(1)CSR活動表彰事業 事業活動の維持拡大と社会的健全性のある経営を実践する中小企業を表彰することで、当該企業の企業価値の向上、経営基盤や競争力の強化を図ります。</p>		取組状況	事業結果	<p>■表彰企業数：2件 ■表彰企業の情報発信：7件</p>	
	成果目標	表彰企業数：6件					
14	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R2.3.31現在	表彰企業数：6件	2件
産業振興プラン位置付け		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>経済団体や中小企業が集まる場での直接的な制度の周知など、応募件数を増やすための取組を行う。また、金融機関を通じて、表彰企業のインセンティブついて周知を促す。市民局、また企画局が実施するSDGsのイベント等と連携し、更なる表彰企業の情報発信を実施していく。</p>	
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化				
分野	商工・物流	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				施策
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係		その他 (特記事項)				

事業	ものづくり基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和元年度			
	事業名	事業14 中小企業等の表彰事業 (2)中小事業者技術表彰事業		予算額	1,135 千円		
				決算額	967 千円		
	事業概要	<p>本市の誇る、魅力ある中小企業等を様々な観点から表彰し、企業価値の向上につなげます。表彰企業に対しては、リーフレットやパネル等を作成し、様々な機会にて企業情報を発信するとともに、中小企業融資制度にかかる信用保証協会保証料の補助率を通常25%から75%に上乗せします。</p> <p>(2)中小事業者技術表彰事業 新規又は独創性の高い技術を持ち、意欲的に事業活動を展開している中小製造事業所を表彰することにより、技術開発意欲の向上等を図ります。</p>		取組状況	事業結果	<p>■ 中小製造者の技術表彰制度の実施</p> <p>■ 表彰事業者数 5 社</p> <p>■ 関係機関や事業者への訪問を通じて募集活動を行い、応募事業者の増加に努めた。 また、受賞事業者のテレビや新聞、雑誌等のメディアへの露出機会を増やすことで、制度自体の認知度向上を図った。</p>	
	成果目標	受賞事業者が広報された件数 3 件					
14	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R 2.3.31 現在	受賞事業者が広報された件数 3 件	6 件
産業振興プラン位置付け		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>■ 企業付加価値の向上を図るため、ビジネス情報誌を利用した表彰制度や受賞事業者のPRを行い、更なる周知と応募事業者の発掘に取り組んでいく。</p>	
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化				
分野	商工・物流	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				施策
担当課等	経済局商工部 産業振興課 企業立地係 (令和元年度担当)		その他 (特記事項)				

事業 14	ものづくり 基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和元年度			
	事業名	事業14 中小企業等の表彰事業 (3)多様な人材の活躍応援事業所表彰事業		予算額	1,262 千円		
				決算額	1,191 千円		
	事業概要	<p>本市の誇る、魅力ある中小企業等を様々な観点から表彰し、企業価値の向上につなげます。表彰企業に対しては、リーフレットやパネル等を作成し、様々な機会にて企業情報を発信するとともに、中小企業融資制度にかかる信用保証協会保証料の補助率を通常25%から75%に上乗せします。</p> <p>(3)多様な人材の活躍応援事業所表彰事業 主に女性をはじめとした多様な人材の活躍促進に積極的に取組む企業を表彰することで、市内企業における仕事と生活の両立や多様な人材が活躍できる職場環境の実現を図ります。</p>		取組状況	事業結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業表彰開催 (令和2年1月10日)</li> <li>・いきいきワークスタイル通信の更新</li> <li>・表彰企業紹介冊子の作成</li> <li>・表彰企業数：4社</li> </ul>	
	成果目標	表彰企業数 5件					
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流		進捗率等	R2.3.31 現在	表彰企業数 5件 4社
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍により、令和2年度の事業実施は見送り。</li> <li>・令和3年度以降に企業側の様子も確認しながら実施の方策を検討する。</li> </ul>
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化				
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流				
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
施策		中小企業の経営基盤・競争力の強化					
担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係		その他 (特記事項)				

事業 15	ものづくり 基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和元年度		
	事業名	事業15 本市に根ざした産業のブランド化 (1)「ホビーのまち静岡」推進事業		予算額	82,202 千円	
				決算額	78,638 千円	
	事業概要	<p>本市に根ざした産業のブランド化を推進することで付加価値を高め、他地域との差別化を図るため、様々な情報発信を実施します。</p> <p>(1)「ホビーのまち静岡」推進事業 本市の地域資源であるホビーを活用し、「ホビーのまち静岡」として市内外に情報発信することで、市のブランド化及び地域経済の活性化を図ります。</p>		取組 状況	事業結果	<p>・ホビー推進協議会静岡が実施するホビーのまち静岡推進事業に（クリスマスフェスタ2019の開催、静岡ホビースクエアの運営等）に対し、補助金の交付等支援を実施 補助金交付 1件 ・静岡ホビースクエアの維持管理業務の実施 施設修繕 1件 ・清水港開港120周年記念事業と連携したホビーイベントの開催 ・ものづくり教育推進事業としてプラモデルをテーマにした座学とプラモデル工作出前授業を実施 市内小学校9校 ・ものづくり教育推進事業として静岡ホビーショー小中高校生招待日に参加した市内小学校に対し送迎バスの手配等参加を支援 対象児童2,800人</p>
	成果目標	<p>①クリスマスフェスタ 来場者数44,000人 ②静岡ホビースクエア 来場者数37,768人 ③ものづくり教育推進事業の結果、プラモデルが好きになった児童の割合73%</p>				
	総合計画の 位置付け (分野別)	分野	観光・交流	進捗 率等	R2.3.31 現在	<p>①クリスマスフェスタ 来場者数44,000人 ②静岡ホビースクエア 来場者数37,768人 ③ものづくり教育推進事業の結果、プラモデルが好きになった児童の割合73%</p> <p>①44,500 人 ②35,019 人 ③94 %</p>
	政策	静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します				
	産業振興 プラン 位置付け	施策	模型の世界首都・静岡を活かした魅力づくり		事業 評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>今後も引き続き、ブランド力のある地域資源を活用した「ホビーのまち静岡」を推進していくとともに、次代のプラモデルファン獲得に向け、模型メーカーや関係機関と連携し、小学生等を対象とした「ものづくり教育」に取り組んでいく。</p>
		分野	観光・交流			
		政策	静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します			
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)			

事業 15	ものづくり 基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和元年度		
	事業名	事業15 本市に根ざした産業のブランド化 (2)地域産業振興ブランド認証事業		予算額	4,075 千円	
				決算額	3,383 千円	
	事業概要	<p>本市に根ざした産業のブランド化を推進することで付加価値を高め、他地域との差別化を図るため、様々な情報発信を実施します。</p> <p>(2)地域産業振興ブランド認証事業 市民投票で「100年先まで大切に残していきたい逸品」として選ばれた商品を「しずおか葵プレミアムAWARD」として認証し、PRや企業支援を行うことで、本市のシティプロモーションの推進及び地域経済の活性化を図ります。</p>		取組 状況	事業結果	<p>■市民投票実績 投票期間 令和元年8月20日～10月31日 エントリー数 31点 投票総数 23,647票 認証商品数 6点</p> <p>■PRイベント実績 ①WeWorkイベント「シズオカナイトVol.1」(5/22) ②プロレスリング フリーダムズ (6/16) ③駿府楽市「しずおか素敵なお土産」(10/3-10/9) ④よい仕事おこしフェア (10/7.8) ⑤しんきんフェア静岡2019 (10/29) ⑥産業フェアしずおか2019 (11/23.24) ⑦コジマ「グランドKING CUP」 ⑧WeWorkイベント「シズオカナイトVol.7」(11/26) ⑨静岡市交流会in東京 (12/18) ⑩静岡 食の商談会in東京 (1/29) ⑪駿府匠宿「現代の名工展」(2/19-2/24) ⑫駿府匠宿「しずおか葵プレミアム展」(3/19-3/31)</p>
	成果目標	展示販売会等実施回数 12回				
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流		進捗 率等	R2.3.31 現在
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化			
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流			
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			「しずおか葵プレミアムAWARD」の認知度と認証商品の好感度・推奨度を高めることでブランド価値の向上を図るため、市内外へ広く情報発信できる専用HPや学生を葛生した積極的なPRを実施する。
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化			
	担当課等	経済局商工部 産業振興課 企業立地係		その他 (特記事項)		

事業	ものづくり基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和元年度	
	事業名	事業15 本市に根ざした産業のブランド化 (3)オクシズ「漆-japan-の里」構想事業		予算額	(協議会への負担金) 1,350 千円
				決算額	(協議会への負担金) 1,350 千円
	事業概要	<p>本市に根ざした産業のブランド化を推進することで付加価値を高め、他地域との差別化を図るため、様々な情報発信を実施します。</p> <p>(3)オクシズ「漆-japan-の里」構想事業 中山間地「オクシズ」に漆の木を植林するとともに、漆を採取したり、塗ったりする職人を育成し、地域の文化財を守る仕組みを築き、「漆-japan-の里」としてのブランド化を図るとともに、伝統工芸技術の継承を図ります。</p>		取組状況	<p>事業結果</p> <p>【令和元年度実績】※協議会事業実績 (調査事業) 賦存状況調査、試験植樹、成分分析の実施 (人材育成事業) 漆掻き技術の映像記録化、担い手育成講座の開催 (付加価値向上事業) 先進地視察（茨城県日立大宮市） (普及啓発事業) 各種イベントへのブース出展 ほか</p>
	成果目標	漆植樹面積 0.5ha			
15	総合計画の位置付け(分野別)	分野 農林水産	政策 多彩な地域資源をみがきあげオクシズ等の地域の活力強化を推進します	進捗率等 R1.3.31 現在	漆植樹面積 0.5ha 0.3 ha
産業振興プラン位置付け	分野 農林水産	施策 地域資源を活かした新しい産業の創出	政策 多彩な地域資源をみがきあげオクシズ等の地域の活力強化を推進します	事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	R2年度については、植樹面積の拡大に努め、協議会の各種事業を計画的に展開すると共に事業のブランド化を図ることで人々の取組みへの理解を深め、事業継続のための資金開発に繋げ、10年後の生産・流通を目指す。
	施策 地域資源を活かした新しい産業の創出				
担当課等	経済局農林水産部 中山間地振興課 企画係		その他(特記事項)	※H31~R3 農水省山村活性化振興交付金事業	

w	ものづくり基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和元年度		
	事業名	事業16 地場産品の情報発信・愛用推進		予算額	252,597 千円	
				決算額	248,432 千円	
	事業概要	<p>JR静岡駅構内の駿府楽市と郊外に立地する駿府匠宿において、本市の伝統工芸品を中心とした地場産品の展示や各種PRによる情報発信を行います。</p> <p>なお、駿府匠宿の現状は、来場者数は減少傾向にあり、伝統工芸の情報発信拠点としての役割が弱くなっています。このような状況を改善するため、経営面からのアプローチ、あり方からのアプローチを行い、伝統工芸の振興と持続可能な施設運営を目指しているところです。</p>		取組状況	事業結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>駿府楽市「特産品展示コーナー」来場者数 383,820人 25回の企画展示を実施</li> <li>駿府匠宿 来場者数 169,700人</li> <li>駿府匠宿 利用者満足度 99.4% 創作体験利用者数 15,415人 誘客イベントの開催 46回等</li> <li>専門家による検証（経営面、あり方）を終え、民間事業者へのサウンディングを実施 当該施設の今後のあり方を検討</li> </ul>
	成果目標	<p>①駿府楽市「特産品展示コーナー」来場者数 427,600人</p> <p>②駿府匠宿来場者数 270,000人</p> <p>③駿府匠宿利用者満足度 90%以上</p>				
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R2.3.31 現在	<p>①駿府楽市「特産品展示コーナー」来場者数 427,600人 ①383,200 人</p> <p>②駿府匠宿来場者数 270,000人 ②169,700 人</p> <p>③駿府匠宿利用者満足度 90%以上 ③110.4 %</p>
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、多様性に富んだ展示を行うことで、地場産品の認知度を高めていく</li> <li>新型コロナウイルス感染防止対策を図り、来場者が安全に鑑賞・購入できる環境を整備する</li> <li>駿府楽市と連携した施設PRを行い、施設の知名度向上及び来場者の増加を図る</li> <li>周辺施設との共同によりアフターコロナを意識した周遊コースを作成し、団体客の取り込みを図る</li> </ul>
	施策	新市場・販路開拓に対する支援				
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、多様性に富んだ展示を行うことで、地場産品の認知度を高めていく</li> <li>新型コロナウイルス感染防止対策を図り、来場者が安全に鑑賞・購入できる環境を整備する</li> <li>駿府楽市と連携した施設PRを行い、施設の知名度向上及び来場者の増加を図る</li> <li>周辺施設との共同によりアフターコロナを意識した周遊コースを作成し、団体客の取り込みを図る</li> </ul>
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
施策		中小企業の経営基盤・競争力の強化				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他 (特記事項)			